

第 105 回大腸癌研究会
ステージⅡ大腸癌のハイリスク因子に関する研究
第 8 回プロジェクトミーティング 議事録

【日時】 2026 年 7 月 2 日（木） 14 時 10 分～14 時 40 分

【開催会場】 広島コンベンションホール 第 1 会場 （2F メインホール 2A/2B）

<出席者（敬称略）>

阿部浩幸（東京大学）、石山 泰寛（埼玉医科大学国際医療センター）、伊勢一郎（東北大学）、岩本一亜（済生会加須病院）、上神慎之介（広島大学）、植村守（大阪大学）、牛込充則（東邦大学医療センター大森病院）、大友駆（福島県立医科大学会津医療センター）、大沼忍（東北大学）、岡田一秀（新東京医科大学ポソペイ校）、岡村亮輔（京都大学）、小澤真由美（横浜市立大学附属市民総合医療センター）、柿崎奈緒（自治医大附属さいたま医療センター）、金澤旭宣（島根県立中央病院）、金子由香（東京女子医科大学）、吉敷智和（杏林大学）、木村慶（兵庫医科大学）、清松知充（国立国際医療研究センター病院）、栗原葵（広島市立北部医療センター安佐市民病院）、甲津卓実（京都大学）、斎藤彰一（がん研有明病院）、坂番庸平（Natera）、坂元慧（都立駒込病院）、坂本美保（がん研有明病院）、佐々木和人（都立駒込病院）、佐藤雄（東邦大学医療センター佐倉病院）、佐村博範（浦添総合病院）、島田能史（新潟大学）、清水亘（広島市立北部医療センター安佐市民病院）、白石謙介（山梨大学）、杉原健一（光仁会第一病院）、杉本起一（順天堂大学）、杉本亮（岩手医科大学）、須藤剛（山形県立中央病院）、須並英二（杏林大学）、高島順平（帝京大学医学部附属溝口病院）、高見拓矢（京都大学）、高見澤康之（国立がん研究センター中央病院）、竹原雄介（昭和医科大学横浜市北部病院）、舘川裕一（東京大学）、田中愛（中外製薬）、谷優佑（新潟大学）、土井寛文（広島大学）、富樫一智（福島県立医科大学会津医療センター）、栃木透（千葉大学先端応用外科）、富澤紀子（Natera）、南角哲俊（帝京大学医学部附属溝口病院）、新實優卓（防衛医科大学）、西舘敏彦（札幌医科大学）、根本哲生（昭和医科大学横浜市北部病院）、能浦真吾（堺市立総合医療センター）、野上仁（新潟県立がんセンター）、羽賀敏博（国立がん研究センター中央病院）、久田かほり（久留米大学）、肥田侯矢（大津赤十字病院）、平木将紹（高木病院）、廣川高久（刈谷豊田総合病院）、深瀬正彦（山形県立中央病院）、福井太郎（自治医科大学附属さいたま医療センター）、福長洋介（関西医大総合医療センター）、古屋信二（山梨大学）、星野伸晃（京都大学）、前川佳歩（がん研有明病院）、松田育雄（兵庫医科大学）、松田直樹（四国がんセンター）、三浦瑛祐（栃木県立がんセンター）、水内祐介（九州大学）、南真平（久留米大学）、三宅亨（滋賀医科大学）、三代雅明（大阪大学）、虫明寛行（済生会横浜市南部病院）、村井勇太（順天堂大学）、村上圭吾（東北大学）、八尾隆史（順天堂大学）、安井昌義（関西ろうさい病院）、山内慎一（東京科学大学）、山口茂樹（東京女子医科大学）、山田

一隆（高野病院）、山中寿之（Natera）、山本くらら（東京科学大学）、吉松軍平（東北大学）

秋吉高志（研究代表者：がん研有明病院）、梶原由規（防衛医科大学）、野口竜剛（研究事務局：がん研有明病院）

<議事>

- ・秋吉よりこの半年の進捗状況について実際の各施設の登録状況とあわせて共有した。

- ・現在予定している変更申請について

前回研究会の際に 1 年間の登録期間延長についてご賛同いただいた。

登録期間延長のための変更申請を行うにあたり、異動などで責任者・病理担当者の変更があればこちらについても研究計画書の修正が必要となる。7 月中に事務局までご連絡をいただき、その後、IRB に変更申請を予定している。

また今回の変更に際して、Natera の ctDNA が薬事承認され、今後保険収載される予定であることを踏まえて、これから ctDNA を調査項目に追加することも検討している。

通常では結果が陰性陽性でしか得られず、詳細なデータを得るには各施設での Natera との契約が必要となるため、全施設で詳細なデータの inputs は困難であると考えている。

このため EDC の項目に追加するのは、現状では ctDNA 陰性陽性の項目だけになると考えている。現在から収集しても十分な情報は得られないかもしれないが、すでに収集しているリスク因子などとの関連において新規性がある可能性はある。

保険収載が決まってから変更申請を行うと時間を要するため、今回の変更申請において ctDNA の情報を EDC の登録情報にも加えるようにしようと考えている。

→異論なし。

- ・診断再現性に関する多施設共同研究の進捗について防衛医大の梶原先生より報告いただいた。

参加表明いただいた 20 施設のうち 16 施設で実施許可をいただき、うち 14 名の病理医の先生に検体を評価いただいている。現在評価中の先生方の評価が終了した段階で統計の先生のもとで解析に移る予定である。

- ・おわりに

皆様のご協力のおかげで目標症例数までの集積が見込まれる状況となりました。深く御礼申し上げます。白血球の桁数などの inputs を間違えやすいところについて、適宜クエリを出しておりますので、ご対応をよろしくお願いいたします。